



みなさま、こんにちは。立憲民主党・千葉県議会議員、松戸市選出の安藤じゅん子です。

千葉県議会は2月8日から3月10日まで2月定例県議会が開催され、来年度の予算案などについて議論されました。代表質問では、立憲民主党会派からは大川忠夫議員が登壇しました。

代表質問は、会派内で担当分けを行い、担当分野の調査を行い質問を作成してきます。今回の代表質問で、安藤じゅん子は文教分野を担当しました。そのほか、児童相談所の人材確保についての質問や予算委員会での安藤の質疑をまとめました。

校則の運用や見直しが進むような取り組みを要望

教育問題について

質問 県教育委員会は、学校・児童生徒を取り巻く環境が大きく変化中、今後、生徒指導をどう推進していくのでしょうか？

教育長 児童生徒を取り巻く環境や、学校が抱える課題が多様化する中、県教育委員会では、これまで、教職員の対応力の向上や、法律・福祉等の専門家との連携に取り組んできたところです。

そうした中で、生徒指導提要が改訂され、児童生徒の問題行動等を未然に防止するため、課題を抱えた特定の児童生徒への指導だけでなく、全ての児童生徒を対象とした、自己肯定感やコミュニケーション能力の育成、いじめ防止教育等の先手型の指導・援助が重要であることが示されました。

今後は、研修等により、教職員が児童生徒の悩みに早期に気づき、適切に対応する力の養成に一層努めるとともに、学校が外部の専門家等の協力を得ながら、チームとして課題に対処し、一人一人の成長を促すことができるよう支援してまいります。

質問 生徒指導提要の改訂版に示された校則の運用や見直しについて、県教育委員会は各学校にどう指導していくのか。

教育長 今回の改訂では、校則を学校のホームページ等に公開しておくことや、制定した背景等について示しておくことが適切とされ、また、校則を見直す際は、生徒・保護者が関わり決定する取り組みを行うことや、見直しの手続きの過程を示しておくことが望ましいとされています。

県教育委員会では、昨年12月に、改訂の主な内容や留意点等を示した通知を発出するとともに、本年1月に、校長を対象とした研修を開催するなど、周知徹底を図っているところです。

県立高等学校の中には、校則の在り方について、生徒が地域や企業の方と意見交換したり、弁護士を交えて議論したりするなど、先進的な取り組みを行っている学校があります。今後は、このような取り組みの周知を図り、生徒がきまりの意義を理解し、主体的に守ろうとする意識が醸成されるよう努めてまいります。

会派要望 県教育委員会では、今回の改訂の内容や留意点を学校にしっかりと通知していただき、見直しが進むよう取り組んでいただくことを要望します。

不足する児童相談所関連人員の人材確保を強く要望

児童相談所等の人材確保について

質問 児童相談所関係4職種の職員採用の状況はどうなっていますか？

また、資格免許職のうち、特に獣医師や保健師の職員採用の状況はどうでしょうか？

副知事 令和4年度の職員採用試験に係る、児童福祉関係職種の採用見込状況は、1月末時点で、心理職は、採用予定数51名に対し、26名を採用見込みで25名の不足、児童指導員は、採用予定数73名に対し、21名を採用見込みで52名の不足、保育士は、採用予定数20名に対し、10名を採用見込みで10名の不足、児童福祉司は、採用予定数55名に対し、8名を採用見込みで47名の不足、となっています。

また、資格免許職のうち、獣医師及び保健師の採用見込状況は、1月末時点で、獣医師は、採用予定数23名に対し、11名を採用見込みで12名の不足、保健師は、採用予定数30名に対し、22名を採用見込みで8名の不足、となっています。

児童福祉関係職種と資格免許職の採用見込状況 2023年1月末現在

	心理職	児童指導員	保育士	児童福祉司	獣医師	保健師
採用予定数	51	73	20	55	23	30
採用見込み	26	21	10	8	11	22
不足	25	52	10	47	12	8

(名)

会派要望 県には、より実効性のある児童相談所関係4職種の確保や育成策の実施、また、同様に、獣医師及び保健師の確保、育成策の実施を要望します。

裏面へつづく

質問 児童相談所の職員の確保対策について、今後、県はどのように取り組んでいくのでしょうか？

熊谷知事 増加の一途を辿る児童虐待に迅速に対応していくためには、児童相談所の体制強化が必要であり、そのためには専門職員の人員確保が大変重要であると認識しています。

昨年12月に、国から新たな体制強化プランが示され、令和5年度からの4年間で、全国で児童福祉を

1,060人、児童心理司を950人程度増員する方針が明らかとなったところであり、これまで以上に人材確保の取り組みが求められているところです。

そこで、来年度から児童家庭課に「人材育成確保対策室」を新設し、民間のノウハウを活用した職員募集サイトを立ち上げるほか、就職フェアや大学就職説明会にも積極的に参加するなど新たな取り組みを進め、必要な人材確保に努めてまいります。

2月28日に予算委員会にて質疑しました

千葉県議会2月定例会議会の予算委員会において安藤じゅん子は予算委員として質疑いたしました。新型コロナウイルス対策から、子どものいのちや安全に関わる県の施策、千葉県のPRに関する事など13項目について質問、要望をいたしました。

1. 新型コロナウイルス感染症対策について
2. 保育所における安全確保について
3. 児童虐待防止について
4. 「こうのとりのゆりかご」について
5. 里親政策について
6. 児童生徒の通学時の安全確保について
7. 教職員による児童生徒への性暴力等に係る対策事業について
8. 学校における危機管理について
9. パートナーシップ宣誓制度について
10. パラスポーツの振興について
11. サイクルツーリズムの推進について
12. 県立美術館について
13. 「黒アヒージョ」について



PICK UP 児童虐待防止について

野田市児童虐待死事件から4年が経過しました。本県では過剰すぎた管轄人口見直しが進み、新たに松戸市と印西市に児童相談所が新設されることになりました。

松戸市に新設される児童相談所の進捗状況を質問し、以下を要望しました。

安藤要望 計画通りの新設をお願いします。児童福祉職人材の確保はきびしい状況であることはこれまで議会でも取り上げられている通りですが、自前で育成したり、児童相談所の外部評価を活用するなど、次元の異なる取り組みをお願いします。また地域からは、児童相談所の虐待対応以外の機能、保護者教育の強化を期待する声も届いています。待ったなしです。よろしくお願いします。

PICK UP 学校における危機管理について

千葉県立千葉高校で窃盗事件が発生し、生徒が撮影した犯行の様子が映った動画がSNS上で拡散されるという事件が発生しました。県立高校で重大な事件・事故が発生した場合の危機管理と対応について質問し、以下を要望しました。

安藤要望 会派代表質問で生徒指導提要改訂について伺いましたが、コロナ禍を経て社会は、さらにデジタル化が進みました。校内で発生した危機、たとえば窃盗、盗撮、暴力行為などは校外で起きた危機と変わりなく対応できるよう危機管理体制を整備し、適切なタイミングで警察の介入支援を求める判断がなされるようしていただきたくともに、常に、危機と危機対応への失敗を想定して、管理職研修を徹底し、再発防止につとめていただきたいです。

4月9日は千葉県議会選挙の投票日です

3月で千葉県議会議員2期目の任期が満了となります。

安藤じゅん子はこの4年間に行ってきた活動や実績などを報告する県政報告会などを行っています。

街頭では県政について、県民の皆様から貴重なご意見を沢山いただいております。安藤を見かけた際は、お気軽にお声がけください。



プロフィール

安藤じゅん子 (立憲民主党千葉県議会議員 松戸市選出)

1976年5月29日生まれ、松戸市立小中学校卒業後、共立女子高校・早稲田大学社会学部卒業。出版社営業を経て2010年より松戸市議会議員。2015年より千葉県議会議員(現在2期目)、文教常任委員会委員、千葉県水道事業運営審議会委員

FAX: 050-3488-7708 Eメール: contact@andojunko.net

ホームページ

<https://andojunko.net/>

ツイッター

<https://twitter.com/andojunko>

Facebook ページ

「安藤淳子と少子化・子育てを考える会」

<https://www.facebook.com/andojunko0529/>

